

【会議録要旨】

会 議 名	第3回敦賀市地域福祉計画策定委員会
日 時	令和6年11月18日（月） 午後2時00分から午後3時25分
場 所	敦賀市役所 2階 講堂
出席委員	出席委員：13人 永井委員長、新井副委員長、大野委員、中村委員、春日野委員、玉村委員、谷川委員、中野委員、横井委員、木村委員、中村委員、江戸委員、中野委員 欠席委員：1人 四方委員
議 題	事務局：16人 福祉保健部：石丸健康推進課長、石丸子育て政策課長、秋山保育課長、河端国保年金課長、笹田長寿健康課長 地域福祉課：櫻井政策幹、合田主幹、山本課長補佐、濱野課長補佐、伊藤係長、天野係長、澤係長、橋本係長、藤井係長、上野主査 業 者：(株)名豊
議 論 内 容	○骨子案の検討について ・今期の計画から成年後見制度利用促進計画や再犯防止推進計画、重層的支援体制整備事業等を盛り込んだ体系（案）を事務局から説明した。 ・重層的支援体制整備事業に再犯防止の観点、どのように含まれているのか。 ⇒個別の対応ケース毎に「つるがつなぐ会議」で連携する関係機関が変わるため、更生保護の対応が必要と判断できる場合、参加を求め意見を伺う。 ・重層的支援体制整備事業について、SOSを発信できない人若しくは発信しない人をどのように拾い上げるのか。 ⇒アウトリーチ活動を行う支援員を地域に配置している。また、民生委員と連携し、SOSを発信できない人等の早期把握に努める。 ・アンケート調査結果から、各団体も担い手不足を課題としてあげており、地区の住民同士が参加しやすい行事や所属意識等を深める必要がある。また、地区における困りごとを他人事ではなく自分事と捉える考え方が大切である。 ・子ども食堂を当初利用していた子どもが、現在はボランティアとして活動しており、高齢者と子どもが出会える場の大切さを実感している。公民館等を利用して、会話やゲーム、飲食等を通じて多職種の人が交流できる場が増えてほしい。 ・人口減少や考え方の変化から独居、老介護、身寄りのない人が増加傾向にあり、相談できる窓口や各関係機関との連携、支援に関する情報発信等を明確にする必要がある。 ・再犯防止の必要性が分かるように再犯率が分かるデータを追加してほしい。 ⇒統計データがあれば追加する。

	・市の地域福祉計画と社協の地域福祉活動計画との連携はしているのか ⇒社協と内容を詰めていけるように検討する。 ・総合計画で提示した１７個のＳＤＧｓを全て掲載するのではなく、地域福祉に関する項目のみ記載してはどうか。 ⇒今後、関係項目のみ記載を検討する。 ・地域福祉計画の評価方法をどのように行っていく予定か。 ⇒市内の関係部署で進捗状況の確認を行う予定だが、誰が評価するかは今後検討する。 ・アンケート調査を踏まえた課題を誰が行うのか、市が行うのか、社協が行うのか、住民が行うのか、主語・主体をはっきりと、明確にして欲しい。 ⇒市の計画であり、基本的には市が行う。 ・若者からの自由意見はどこに反映されているのか。 ⇒アンケート結果の中の、若年者調査の項目にある。
次 回 予 定	日時：令和７年１月１７日（金） 午後２時から 場所：敦賀市役所 災害対策本部